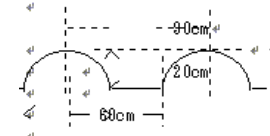
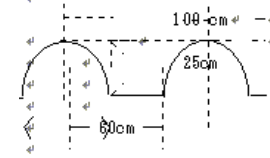
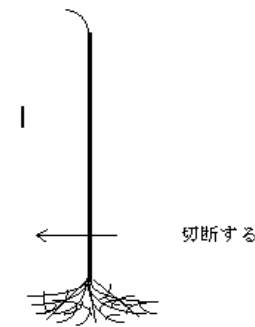


青果用かんしょ(早掘マルチ栽培)

月	旬	作型	作業	栽培の要点	摘 要																	
~	2		土作り 耕土・砕土	品種:高系14号 (1)土作り ・たい肥は前作時または植付けの2か月前までに完熟堆肥を施用する。未熟たい肥はつるばけやいもの形状不良の原因になるので絶対に施用しない。	作畦例(畦立マルチ機使用) (火山灰土地帯)  (重粘土地帯)  *重粘土地帯は畦幅を広くとるなどして充分な土量(畦高)を確保する。 植付苗数 3,700~4,000本/10a <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">畦幅 (cm)</th> <th colspan="2">株間 (cm)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">3,700本/10a~4,000本/10a</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>75</td> <td>36</td> <td>~ 33</td> </tr> <tr> <td>80</td> <td>34</td> <td>~ 31</td> </tr> <tr> <td>90</td> <td>30</td> <td>~ 28</td> </tr> <tr> <td>100</td> <td>27</td> <td>~ 25</td> </tr> </tbody> </table>	畦幅 (cm)	株間 (cm)		3,700本/10a~4,000本/10a		75	36	~ 33	80	34	~ 31	90	30	~ 28	100	27	~ 25
畦幅 (cm)	株間 (cm)																					
	3,700本/10a~4,000本/10a																					
75	36	~ 33																				
80	34	~ 31																				
90	30	~ 28																				
100	27	~ 25																				
		上	施肥・耕耘 土壤消毒・同時畦立マルチング((2)耕耘・砕土 形状を良くするため5回(5~7日に1回程度)以上行う。但し、降雨後の耕耘はしない(降雨後の耕耘は大きな土くれを作り、いもの形状が悪くなる)																		
		3中		(3)施肥・耕耘 ・植付け30日前頃~マルチング直前の期間に基肥とダースパン粒剤9kg/10aを土壤混和する。 ・石灰資材の施用は土壤消毒の1か月前とする。 ・施肥基準を基に圃場条件、前作によって加減を行う。																		
		下		(4)土壤消毒・同時畦立マルチング 植付け3週間以上前にクロルピクリン(畦内処理:20%/10a)による土壤消毒を行う。 ・土壤水分が適当なとき(作土を手で握り、その塊が崩れない程度の水分)に実施する。 ・畦幅は最低75cmとするが、畦立マルチ機の能力や、収穫時に機械を使用する場合はそれに応じた畦幅で植付苗数は株間で調整する。 ・4月15日まで植付けのものは透明マルチを、それ以降の場合は黒マルチを使用する。 *同時畦立マルチ以外で土壤全面消毒を行うときは植付け1か月前までに行う。その後のマルチングは植付け予定日の1週間前までに行い地温を確保する。																		
		上	定植()	(5)植付け 生産物の高品質化、増収のためウイルスフリー苗を使用する。 地温15℃を確保し、4節内外を斜めに植え込む。 ・7節以上の苗を使用し、取り置き期間は5日を限度とする ・植付けはできる限り夕方、もしくは曇天日に行い、植付け後は活着促進・雑草防除のため株元に土寄せを行う。 4月15日以前の定植分にはバスマイトなどで被覆をし地温の上昇・確保を図る。																		
		4中	雑草防除 病虫害防除	(6)雑草防除・病虫害防除 ・活着後、アブラムシ・ダニの発生に注意し、発生がみられる場合は薬剤防除を行う。																		
		下		(7)収穫・出荷調整 植付け後100~120日で収穫するが、色のりをみたくうえで可能であれば90日で収穫してよい。 ・収穫は努めて晴天日に行い皮むけに注意する。 ・収穫後、長時間日光にさらすと鮮度が落ちるので、掘り取り直後は日陰におく。 ・収穫 風乾 両端切り 洗浄 風乾 箱詰のように調整する。 ・洗浄機はスポンジ式を使用すると傷が少なく光沢がよい皮むけを防止するため、洗浄前の風乾を収穫後3日以上行う。 洗浄は充分水を使い、皮むけしないよう丁寧に洗う。その後、再度きれいな水ですすぎ鮮度を高める。																		
		上	収穫・出荷調整	施肥基準 10a当たりkg <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <thead> <tr> <th>肥料等</th> <th>施肥量</th> <th>成分量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>完熟たい肥</td> <td>2,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>BB820</td> <td>30</td> <td>N 2.4</td> </tr> <tr> <td>珪酸加里</td> <td>30</td> <td>P 10.6</td> </tr> <tr> <td>BM苦土重焼燐</td> <td>20</td> <td>K 12.6</td> </tr> </tbody> </table> 土壤分析等に基づき加減する	肥料等	施肥量	成分量	完熟たい肥	2,000		BB820	30	N 2.4	珪酸加里	30	P 10.6	BM苦土重焼燐	20	K 12.6			
肥料等	施肥量	成分量																				
完熟たい肥	2,000																					
BB820	30	N 2.4																				
珪酸加里	30	P 10.6																				
BM苦土重焼燐	20	K 12.6																				
		5中																				
		下																				
		6中																				
		下																				
		7上																				
		7中																				
		7下																				
		8上																				
		8中																				
		8下																				

根付きの苗は必ず切苗してから植付ける
(既にいもになる根が分化しており根付き苗を定植すると変形いもが多くなる)



挿苗後は苗と土を密着させるよう軽く畦を抑え、成長点が埋まらないように株元に土をかぶせる。